

熊本県立球磨工業高等学校 令和5年度第2回避難訓練実施計画

1 目的

- (1)本校で想定される災害への意識を高め、安全な避難行動を取るための方法を学ぶ。
- (2)突発的な災害が発生した状況でも、適切な行動を取る力を身に付ける。

2 日時

令和5年(2023年)11月30日(木)

避難訓練 午前11時55分～午後12時30分【3限目終了5分前～昼休みの時間帯】

合評会 午後12時45分～午後1時30分(管理棟2階:大会議室)

3 実施方法

事前通告・ブラインド・**一部ブラインド**【事前学習を行った上で日程は伝えずに実施】

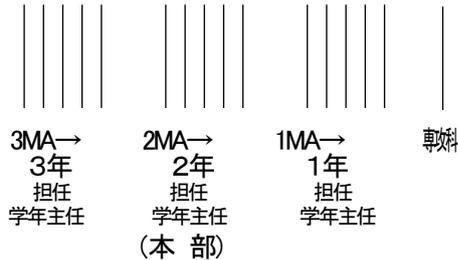
4 災害想定

(地震によるライフライン遮断および火災)

5 避難場所

晴天時:グラウンド中央の安全な場所(各クラス村山公園方向を先頭に2列縦隊で点呼)

雨天時:体育館(各クラス武道場方向を先頭に2列縦隊で点呼)



6 避難経路

- ①緊急地震速報を受けてシェイクアウトを行い、生徒・各教科担当は各自で判断して避難場所まで移動。
- ②晴天時(機械科生徒下足箱自動販売機周辺)、雨天時(化学室前廊下周辺)で、スモークマシンにより疑似火災を発生させ、避難経路に使えない状況とする。
- ③各教科担当は生徒誘導および避難完了の確認。
- ④担任・副担任は避難場所に向かい生徒の掌握および点呼。
- ⑤職員は避難場所へ移動し教科主任による点呼の後、校長の指示で各班の業務を行う。

7 事前準備

- 総括、消防署、市防災課との打ち合わせ:永吉、教頭
- 火災通報及び初期消火:晴天時(西村)、雨天時(永田_孝)
- 講評時の進行、整列指導:永吉 ○スリッパを拭く雑巾等の準備:緒方、防災・整備委員(2年生)
- 放送(11:55に緊急地震速報を流す):村山、力 ○記録:園田_和、山下、甲斐
- 計時(避難開始 11:57～各学年の生徒の点呼報告までの時間を計測):高松、岡村、木村
- 訓練後に実施する生徒および職員アンケートの作成:緒方 ○合評会会場準備・撤収:総務部職員
- 見学者及び報道機関受付:橋口、甲斐

8 避難計画

時間	災害の状況	職員の動き	生徒の動き	備考
				【消防】 出火想定箇所(機械科 生徒下足箱自動販売機 周辺又は化学室前廊下 周辺)にスモークマシン で疑似火災を発生させる
11:55	緊急地震速報 (災害発生)	【村山・カ】 緊急地震速報を流す 【全職員】 シェイクアウトをする	シェイクアウトをする	
11:57	ライフライン遮断。 非常電源が使えず、放 送も使えない。	【西村】 火災通報、初期消火 【各教科担当】 生徒を避難場所まで誘 導 【担任・副担任】 避難場所へ移動、避難 してきた生徒の点呼→ 学年主任へ報告 【学年主任】 避難場所へ移動し、担 任・副担任からの報告を 受け教頭へ報告 【各職員・教科主任】 避難場所へ移動し、職 員点呼→主任事務長へ 報告 【教頭・主任事務長】 避難場所へ移動し、学 年主任、教科主任から 点呼の報告を受ける→ 校長へ報告	落下物等の危険リスク、 二次災害による出火場 所、風向きなど、状況に 応じて、各個人が安全な 避難ルート、避難場所を 選択し、避難する	
12:15	訓練終了	【校長】 訓練終了の指示		
12:16	講評	【市防災課、学校安全ア ドバイザー】から講評	講評を聞く	
12:25	消火器の取扱い説明	【消防】から消火器の取 扱いの説明	消火器の取扱いを聞く	
12:30	全日程終了			

9 事前指導

人間がパニックに陥ったとき、どんな行動をとるかわからないため、各担任・副担任は避難訓練の意義を十分に説明してください。また、避難の際、生徒には次のことを指導してください。

- (1)シェイクアウト訓練時は、机等の脚をしっかり握って動かないようにし、頭部や体を守る。
- (2)ヘルメット、本などを使って頭を守りながら避難する。(落下物による危険があるため)
- (3)階段を降りる際は、手すりを触りながら、確実に一段ずつ降りる。(手すりを触らない、二段以上飛ばして降りるなどの行為は、災害時は負傷や事故につながるため)
- (4)地震後の二次災害として火災が発生する可能性もあり、その際はハンカチやタオルで煙による被害防止のため、口や鼻を押さえる、出血箇所を押さえるなどを行う。
- (5)落下物等の危険リスク、二次災害による出火場所、風向きなど、状況に応じて、各個人が安全な避難ルート、避難場所を選択する。
- (6)迅速かつ整然と避難する。
- (7)余裕があれば、火災現場から離れた教室は、窓を閉め、消灯する。
- (8)自分の身の安全を確保しつつ、職員は生徒の安全を確保するため避難誘導や声かけ、二次災害を防止するための行動を取る。